

釜ヶ崎解放 7/25

T557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-2
釜ヶ崎解放会館内
釜ヶ崎日雇労働組合
電話 06-632-4273

宝塚斗争に連続決起 7/24再開工事を阻止する。

宝塚市役所で野営し闘う仲間と合流を促す

釜の全ての仲間たちへ

昨日7月24日、釜日労と闘う仲間は、早朝ハスレ勝利号に乗リこみ、二名の仲間を殺した現場長尾山霊園へと向った。

徳山組より一歩先に霊園に到着した我々は、それそれの配置につき、工事再開を絶対に阻止すべく待ちうけた。しかし、徳山組は赤い勝利号をかまこいるのを見てすぐさまリターンして帰ってこられた。しばらくしてガードマンも引き上げた。

午前八時半頃、我々は徳山組のオヤジが霊園に向う途中の採石場にいるのを見つけ、たばらに工事再開を即ち中止するよう申し入れた。徳山のオヤジは我々に、何でワシラのような下請けをイジメルのか。元請け市橋組は、全ての責任を自分におしつけようとしている。と7月10日に出て来た西宮労働基署の判断に怒りをぶちまけてきた。

その通りだ。全てを下請けの責任におしつけろウノウとこいて宝塚市と市橋組に対する徹

旅した責任追求の闘いが必要だ。だから徳山のオヤジも元請けの責任、宝塚市の責任を我々に明らかになければならない。

昼まで霊園に陣取り工事阻止を確認した我々は、午後宝塚市に押しかけた。又別のこたく教の脱走とホリ公が一緒になり、こけてをほった。我々は労務責任を居直る宝塚市と徹底糾弾すべく、中に陣を取り情宣活動を行った。そして、被害者の遺族が午後3時半頃宝塚市

に対して話し合いを申し入れにきた。この遺族からはるける御存いから休かを取って来たにもかかわらず、何と市は、全ての責任は元請け、下請けにあるから話し合わないとつらばれた。市はこれまで組合と少数教となら話し合おうと言った。おまなから、遺族が出てくるや教人と工え話し合わないという態度に出た。こが市の本根だ。我々の闘いの中で最終的には遺族と他

一名とあずかな時間だけ話し合うことにはなった。我々は、この工事再開阻止斗争を連続決起すべく、宝塚市役所に陣と張った。仲間たち、連続斗争に共に決起しよう！